

水 西方ふるさとづくり水源祭 に感謝し、五穀豊穡を願う



3月30日、西方地内の三ツ池公園で第38回西方ふるさとづくり水源祭が開かれました。農業用貯水池の造成に尽力した先人たちに感謝し、水害防止や五穀豊穡を願う恒例行事。今年は4年ぶりにステージ発表も行われ、地域住民などおよそ300人が親睦を深めました。午後には火渡りが行われ、参加者は炎の間に作られた道を裸足で渡り、無病息災を願いました。このほか、堀之内小学校を対象にした水に関する標語の表彰式や、餅まきも行われました。

1人力ロープウエーの「野猿」**2**弁財天の祠で神事 **3**地域資源を維持する人に感謝する市長 **4**護摩木に願い事を書く **5**勢いよく燃え上がる大護摩 **6**炎の間に作られた道を裸足で歩く火渡り **7**水に関する標語の表彰を受ける **8**4年ぶりのステージ発表 **9**多くの参加者で賑わう餅まき

地 みなみやま安全安心の集い 域で高める防災・防犯意識

3月14日、小笠南地区コミュニティセンターで「みなみやま安全・安心の集い」が開催されました。地域住民の防災や防犯の意識を高めてもらうことを目的に、小笠南地区コミュニティ協議会が主催し、毎年開催しているもの。今年度は、菊川警察署交通課の署員や市交通安全協会、市消費生活相談員が「交通安全」や「詐欺被害防止」をテーマにした講話を行いました。参加した21人は、講話を聞いたほか、身体能力の測定などを行い、交通安全や防犯の意識を高めました。



1交通安全に向けた反射神経の測定 **2**詐欺被害防止の講話

金 横地小シイタケ菌の種駒打ち づちを使って植菌体験

3月7日、横地小学校3年生14人がシイタケ菌の種駒を打ち込む「植菌体験」を行いました。同校の3年生が毎年行っている恒例行事。児童は、横地城跡運営協議会のメンバー7人の指導の下、シイタケ菌の植え付けに挑戦しました。植菌体験では、横地城跡の管理で発生した「こなら」の間伐材を使用。木に穴を開け、しいたけ菌の種駒を金づちで打ち込みました。児童は夢中になって作業を行い、1時間30分で50本以上の「ほだ木」が出来上がりました。



1穴の空け方を教わる **2**空けた穴に金づちで菌を打ち込む